

目 次

第 章 策定の背景	
1 生物多様性保全の気運の高まり	1
(1) 生物多様性条約	1
(2) 愛知目標	1
2 生物多様性の保全に向けた我が国の取組	3
(1) 生物多様性国家戦略の策定	3
(2) 生物多様性国家戦略 2012-2020	3
(3) 生物多様性基本法	5
第 章 生物多様性の現状と課題	
1 生物多様性とは	7
(1) 3つの多様性	7
(2) 生物多様性の重要性	11
(3) 生物多様性の危機	15
2 生物多様性の現状と課題	20
(1) 世界の生物多様性の現状	20
(2) 日本の生物多様性の現状	23
(3) 宮崎県の生物多様性の現状	26
(4) 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する課題	43
第 章 生物多様性の保全と持続可能な利用の目標	
1 基本的事項	46
(1) 策定方針	46
(2) 「みやざき自然との共生プラン」の位置づけ	46
(3) 「みやざき自然との共生プラン」が対象とする区域	46
2 目標	47
(1) 長期目標	47
(2) 短期目標	47
3 県土のランドデザイン	48
(1) 自然と共生できる宮崎県	48
(2) 県土の特性に応じたランドデザイン	48
4 基本的視点	51
(1) 科学的認識と予防的かつ順応的な態度	51
(2) 地域に即した取組	51
(3) 連携と協働	51
(4) 社会経済における生物多様性の主流化	51

5	基本戦略	53
(1)	野生生物の適切な保護管理	53
(2)	重要地域の保全	53
(3)	県土の区分に応じた生物多様性の保全	53
(4)	生物多様性の主流化の推進	54
第	章	生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する行動計画
1	野生生物の保護や重要地域の保全に関する施策	55
(1)	野生生物の適切な保護管理	55
(2)	重要地域の保全	62
(3)	県土の区分に応じた生物多様性の保全	67
(4)	公共事業における生物多様性への配慮	71
2	生物多様性の主流化の推進に関する施策	73
(1)	生物多様性の主流化の普及啓発	73
(2)	人材の確保・育成	75
(3)	県民と事業者の取組の推進	77
第	章	みやざき自然との共生プランの推進
1	推進体制	82
(1)	各主体の役割	82
(2)	関係機関との連携	83
(3)	県民との連携・協働	83
(4)	情報の連携・共有化	84
2	みやざき自然との共生プランの評価	85
(1)	指標の設定(まとめ)	85
(2)	みやざき自然との共生プランの点検・評価	86